

アドベンチストメディカルセンター 歯科衛生士臨床研修プログラム

2024年（令和6年）度版

宗教法人セブンスデー・アドベンチスト教団
アドベンチストメディカルセンター

アドベンチストメディカルセンターの病院理念と基本方針

<病院理念>

こころと体の癒しのためにキリストのこころで
ひとりひとりに仕えます

<基本方針>

質の高い、誠実な医療を提供します。

病気の治療ばかりでなく、予防にも努めます。

体だけでなく、心とたましいの必要にも応えます。

患者様の権利を尊重します。

地域医療の必要に応えます。

I. プログラムの名称

アドベンチストメディカルセンター歯科衛生士臨床研修プログラム

II. プログラムの特徴と概要

はじめに、宗教法人アドベンチストメディカルセンターは、全世界に 500 以上の医療機関をもつアドベンチスト病院グループのひとつである。このグループは、米国カリフォルニア州のローマリンダ大学を拠点とする病院や診療所を世界各地に有しており、過疎地域の医療支援活動なども行っている。また、セブンスデー・アドベンチスト教会の教えを取り入れた健康的なライフスタイルの実践により、禁煙活動、食育教室、減量指導など予防医学を基礎とした健康増進活動も展開している。

当院における歯科衛生士臨床研修プログラムは、当院の病院理念、基本方針を十分に理解し、医療従事者として必要とされる技術習得はもちろんの事、身体的な癒しだけではなく、心と魂の痛みを共に解かりあえる全人的医療を提供できる歯科衛生士を育成することを目標としている。

歯科衛生士臨床研修においては、一般歯科診療はもとより、矯正歯科、小児歯科、有病者の歯科診療や口腔外科疾患および病棟（主に緩和ケア病棟）での口腔ケアまで患者様の全身状態を考慮して歯科診療を行えるよう基本的な知識、技能、態度を習得する。また、米軍基地や沖縄科学技術大学院大学（OIST）等からの外国人患者様への対応も経験する事により、国際性豊かな医療人を育成する。

研修プログラムは、歯科衛生士学校卒業後より行う卒後研修とより高い能力や経歴を身に付ける事を目的としたキャリアアップ研修が共に 1 年間（一般歯科研修 9 か月、専門歯科研修 3 か月）のコースとなっている。また、産休・育休等で長期間業務から離れていた歯科衛生士に復職時の支援を目的としたカムバック研修も用意されており、1～3 か月のコースとなっている。

III. 歯科衛生士臨床研修の目標

本プログラムの目標は、患者様中心の全人的医療を理解し、歯科衛生士に求められる基本的な診療能力である「予防処置」「診療補助」「歯科保健指導」を身に付け、生涯にわたり幅広い歯科医療について知識・技能を習得する態度を養い、生涯研修の第一歩とすることである。

その具体的な項目を以下の通りとする。

1. 歯科衛生士として好ましい態度・習慣を身に付け、患者様及びご家族とのより良い人間関係を確立する。
2. 全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を歯科医師と共に立案する。
3. 歯科疾患と障害の予防及び治療における診療補助についての基本的技能を身に付ける。
4. 一般的によく遭遇する頻度の高い歯科治療処置の内容を確実に把握する。
5. 歯科診療時の全身的偶発事故に適切に対応する。
6. 自ら行った予防処置の経過を観察、評価し、常時フィードバックする態度・習慣を身に付け

る。

7. 専門的知識や高度先進的歯科医療に目を向け、生涯研修の意欲への動機付けをする。
8. 歯科衛生士の社会的役割および他職種連携を認識し、実践する。
9. 高い倫理観を持ち、かつ幅広い見識と豊かな人間性を身に付ける。

IV. 施設概要

1) 施設名

宗教法人セブンスデー・アドベンチスト教団 アドベンチストメディカルセンター

2) 所在地 沖縄県中頭郡西原町字幸地 868 番地

3) 開設者 宗教法人セブンスデー・アドベンチスト教団

4) 管理者 病院長 マツモト ノリス ヨシヒコ

5) 研修プログラム責任者 比嘉清美

6) 研修副プログラム責任者 野田直美

7) 事務担当者 事務部長 宮城 洋

8) 施設の概要 (令和 5 年 3 月 1 日現在)

歯科医師数：常勤 5 名、非常勤 0 名、歯科臨床研修医 1 名

歯科衛生士数：常勤 12 名、非常勤 3 名

ユニット・チェア数：16 台、エックス線・歯科用 CT 室：1 室、医科用 CT 室：1 室、手術室 1 室

V. プログラムの管理運営体制

歯科衛生士臨床研修管理委員会を設置し、プログラムの管理運営を行う。

① 研修管理委員会の名称と構成

名称：宗教法人セブンスデー・アドベンチスト教団 アドベンチストメディカルセンター 歯科衛生士臨床研修管理委員会

委員長：マツモト ノリス ヨシヒコ (病院長)

副委員長：比嘉清美 (プログラム責任者)、野田直美 (副プログラム責任者)

委員：大城秀隆 (志尚会理事長・ライフデンタルクリニック宜野湾院長)、当真 隆 (歯科臨床研修センター長)、宮本潔人 (歯科医師)、井上慧二 (歯科医師) 喜屋武利香 (歯科主任) 池原大介 (総務課課長)

研修管理委員会の運営

研修管理委員会は、年に 2 回 (3 月、12 月) 定例会議を開催し、研修の管理、運営、研修歯科衛生士毎に研修内容の評価、さらには研修プログラムの見直しを行い、本研修の充実と質の向上を図る。

② 研修指導体制と医療事故への対応

歯科衛生士臨床研修は常に指導歯科衛生士の直接指導下、あるいは指導歯科衛生士以外の歯科

衛生士（いわゆる上級歯科衛生士）と共に診療チームを形成して研修を行い、基本的な知識、手技等を習得させる。また緊急時には、直ちに指導歯科衛生士あるいは上級歯科衛生士が対応できる体制で行う。

③ 指導歯科衛生士

指導歯科衛生士は、研修期間中に個々の研修歯科衛生士について診療補助行為も含めて指導を行い、適宜目標達成状況を把握し、研修が遅滞なく進行できるよう研修歯科衛生士に対し指導を行う。

VI. 研修期間

卒後研修・キャリアアップ研修：1年間（一般歯科研修9か月、専門歯科研修3か月）

カムバック研修：1～3か月

VII. 到達目標

歯科衛生士としての基本的な資質と能力を養成するために、「臨床基礎コース」「予防処置コース」「診療補助コース」「歯科保健指導コース」「アシスタントワーク」の全てにおいて経験をすることが望ましいものである。各々の行動目標については歯科衛生士法に定められた範囲内で研修を行う。

1. 歯科衛生士臨床研修・臨床基礎コース

【一般目標】

個々の歯科衛生士が、患者様の立場に立った歯科医療を実践できるようになるために、基本的な歯科診療に必要な臨床基礎知識を身に付ける。

（1）歯・歯髄組織の疾患と治療

【一般目標】

歯科衛生士業務を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、診断および治療法の基本を理解する。

【行動目標】

- ① 歯の硬組織疾患の種類と処置法を説明できる。
- ② 修復法の種類（直接修復・間接修復）と特徴を説明できる。
- ③ 歯の切削器械・器具の種類と特徴を説明できる。
- ④ 歯の変色の原因と処置法を説明できる。
- ⑤ 象牙質知覚過敏症の原因と処置法を説明できる。
- ⑥ 修復処置後の不快事項およびメンテナンスの意義を説明できる。
- ⑦ 歯髄・根尖性歯周組織疾患の分類と症状を説明できる。
- ⑧ 歯髄の保存療法を説明できる。
- ⑨ 歯髄の除去療法を説明できる。

- ⑩ 感染根管治療の目的と意義を説明できる。
- ⑪ 歯の外傷、再植および移植の治療法を説明できる。

(2) 歯周組織の疾患と治療

[一般目標]

歯科衛生士業務を行うために必要な歯周組織に生じる疾患の種類、診断および治療の基本を理解する。

[行動目標]

- ① 正常な歯周組織を図説できる。
- ② 歯周病の種類と病態を説明できる。
- ③ 歯周治療の流れを説明できる。
- ④ 歯周病の診査を実施し、検査結果を説明できる。
- ⑤ 歯周治療の術式と適応症を説明できる。
- ⑥ 歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。
- ⑦ 歯周治療後の再評価ができる。
- ⑧ 歯周治療後のメンテナンスの意義を説明できる。
- ⑨ 歯周内科治療の説明ができる。

(3) 咀嚼障害・咬合異常

[一般目標]

歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部、あるいは全部欠損に対する咬合修復方法を理解する。

[行動目標]

- ① 歯列の形態と位置的関係、顎口腔系の機能、咬合について説明できる。
- ② 補綴装置の種類と適応を説明できる。
- ③ 支台装置とポンティックの選択、特徴および製作法を概説できる。
- ④ 可徹性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。
- ⑤ 補綴治療の臨床ステップおよび技工操作を概説できる。
- ⑥ 義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を概説できる。
- ⑦ 修復後、義歯装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。

(4) 小児の理解と歯科治療（小児歯科）

[一般目標]

小児の身体的・精神心理的特徴と小児の歯科治療の留意点を理解する。

[行動目標]

- ① 顎・顔面の成長発育とその障害を説明できる。
- ② 成人歯科と小児歯科の違いを説明できる。
- ③ 各年齢における小児の正常な成長発達に関する事項を説明できる。
- ④ 歯の発育と異常について説明できる。
- ⑤ 歯列および咬合の発育と発育障害について説明できる。

- ⑥ 乳歯と幼若永久歯の形態的特徴ならびに齲蝕の特徴について説明できる。
- ⑦ 小児の齲蝕予防と進行抑制法について説明できる。
- ⑧ 咬合誘導の概念ならびに保隙装置の種類、適応症および留意点を説明できる。
- ⑨ 小児の対応法の要点について説明できる。

(5) 高齢者の理解と歯科治療（高齢者歯科）

〔一般目標〕

高齢者の身体的・精神心理的特徴と歯科治療上の留意事項を理解する。

〔行動目標〕

- ① 老化と口腔の加齢変化について説明できる。
- ② 高齢者の全体像を説明できる。
- ③ 要介護高齢者の身体疾患と口腔疾患について説明できる。
- ④ 高齢者の摂食・嚥下機能と障害について説明できる。
- ⑤ 高齢者の摂食・嚥下リハビリテーションについて説明できる。

2. 歯科衛生士臨床研修・予防処置コース

【一般目標】

口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術および態度を修得する。

(1) 総論

〔一般目標〕

歯科予防処置についての専門知識と技術、および態度を修得する事とその意義を理解するために、予防処置の概要について学ぶ。

〔行動目標〕

1) 概要

- ① 歯科予防処置の概念と内容を概説できる。
- ② 予防処置の対象者を把握する方法を説明できる。

2) 基礎知識

- ① 正常な歯・歯周組織と口腔の機能について概説できる。
- ② 歯・口腔の健康状態を把握するための項目が列挙できる。
- ③ プラークの形成過程と成分について説明できる。
- ④ 歯石の形成過程と成分について説明できる。
- ⑤ 齲蝕の原因と進行、予防方法について説明できる。
- ⑥ 歯周病の原因と分類、進行および予防方法について説明できる。
- ⑦ 歯科疾患の原因となる細菌の種類について説明できる。
- ⑧ 歯科予防処置時に起こりうる不快事項とその予防・対応方法について説明できる。
- ⑨ 唾液検査の手順について説明できる。

(2) 歯周病予防処置

[一般目標]

歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を修得する。

[行動目標]

1) 歯周病の基礎知識

- ① 歯周病予防に関連する生活習慣の把握方法と項目を説明できる。
- ② 歯周病と全身疾患との関連について説明できる。
- ③ 歯周病リスクの評価方法を説明できる。

2) 歯・歯周組織の検査

- ① 歯・口腔・歯肉の診査ができる。
- ② 診査の結果を説明できる。

3) スケーリング・ルートプレーニング

- ① シックル（鎌型）タイプスケーラーを操作できる。
- ② キュレットタイプスケーラーを操作できる。
- ③ 超音波スケーラーを操作できる。
- ④ エアースケーラーを操作できる。
- ⑤ シャーピングができる。
- ⑥ グランドピースの操作ができる。

4) 歯面清掃・研磨

- ① 歯面清掃の意義が説明できる。
- ② 歯面清掃・研磨ができる。
- ③ プロフィージェットの操作ができる。
- ④ トリートメント（リナメル）の説明ができる。

5) メインテナンス

- ① 歯周病におけるメインテナンスの目的を説明できる。
- ② メインテナンス時の評価項目と方法、処置について説明できる。
- ③ 歯周病のリスクとメインテナンスの必要性を説明できる。

(3) 齶蝕予防処置

[一般目標]

齶蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な技術、技能、および態度を修得する。

[行動目標]

1) 基礎知識

- ① 齶蝕予防処置に関連する生活習慣の把握方法と項目を説明できる。
- ② 齶蝕と全身疾患の関連について説明できる。

- ③ 齲蝕予防処置の臨床的効果、作用機序、安全性および便宜性について説明できる。
- ④ 齲蝕予防処置法の選択方法を説明できる。
- ⑤ 齲蝕リスク判断のために行う、齲蝕活動性試験の目的と種類を説明できる。
- ⑥ 齲蝕予防法としてキシリトールの使用について説明できる。

2) 齲蝕活動性試験

- ① 齲蝕活動性試験の条件を説明できる。
- ② 齲蝕活動性試験の検体と評価項目を説明できる。
- ③ 齲蝕活動性試験を実施できる。
- ④ 判定結果から齲蝕予防プログラムを立案できる。

3) フッ化物歯面塗布法

- ① 使用薬剤の種類と取り扱い方を説明できる。
- ② フッ化物歯面塗布の適応歯と術式を説明できる。
- ③ フッ化物歯面塗布を実施できる。

4) フッ化物洗口法

- ① 使用薬剤の種類、濃度および取り扱い方を説明できる。
- ② 対象年齢と洗口方法を説明できる。
- ③ フッ化物洗口法実施上の注意点を説明できる。

5) フッ化物配合歯磨剤

- ① 配合フッ化物の種類と特徴を説明できる。
- ② 年齢に応じた使用量を説明できる。
- ③ フッ化物配合歯磨剤の使用方法を説明できる。

6) 小窩裂溝填塞

- ① 小窩裂溝填塞材の種類と特徴を説明できる。
- ② 小窩裂溝填塞の適応症を説明できる。
- ③ 小窩裂溝填塞の術式を説明できる。
- ④ 小窩裂溝填塞実施上の注意点を説明できる。

7) メインテナンス

- ① 齲蝕予防処置におけるメインテナンスの目的を説明できる。
- ② メインテナンス時の評価項目と方法、処置について説明できる。
- ③ 齲蝕のリスクとメインテナンスの必要性を説明できる。

3. 歯科衛生士臨床研修・診療補助コース

【一般目標】

さまざまなライフステージにおける高度歯科医療に対応するために、専門的な歯科診療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を身につける。

(1) 歯科診療補助

[一般目標]

専門的な歯科診療の補助に対応するために必要な基本的知識、技術および態度を修得する。

[行動目標]

1) 概要

- ① 歯科診療補助における歯科衛生士の役割を列挙できる。
- ② チーム歯科医療の必要性を述べることができる。
- ③ 歯科訪問診療のための保健・医療・福祉のシステムを概説できる。

2) 患者様への対応

- ① 患者様の状態に応じて適切に対応できる。
- ② 全身疾患の状態を考慮した歯科診療補助ができる。
- ③ 感染症患者への配慮ができる。

3) 診療設備

- ① 診療室の環境と設備を整えられる。
- ② 歯科用ユニットの管理ができる。
- ③ エックス線撮影の準備ができる。
- ④ 消毒・滅菌器具の管理ができる。

4) 医療安全管理

- ① 医療安全の目標を述べることができる。
- ② 感染症に応じた対応ができる。
- ③ スタンダードプレコーションが実践できる。
- ④ 医療廃棄物の取り扱いができる。
- ⑤ 偶発事故について適切に対応できる。
- ⑥ インシデントレポートの意義を理解し必要時に記入・提出ができる。

5) 診療時の共同動作

- ① フォーハンドシステムの基本動作ができる。
- ② 診療に応じた器具の受け渡しができる。
- ③ 診療に応じたバキューム操作ができる。
- ④ 口腔内写真の撮影ができる。

6) 消毒・滅菌

- ① 消毒薬の取り扱いができる。
- ② 各種滅菌器械の取り扱いができる。
- ③ 各種滅菌器械、消毒薬の管理ができる。
- ④ 消毒、滅菌器具の準備ができる。

(2) 主要歯科材料の種類、取り扱いと管理

[一般目標]

歯科診療の補助に対応するために歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および

び標準的な使用法を修得する。

[行動目標]

1) 模型用材料

① 模型材の取り扱いができる。

2) 合着・接着材

① 各種合着・接着材を練和（混和）できる。

3) 印象材

① 各種印象材を練和（混和）できる。

② 概形印象の採得ができる。

4) 歯冠修復

① 歯冠修復材の取り扱いができる。

5) 仮封材

① 仮封材の取り扱いができる。

6) その他の材料

① ワックスの基本的性質を述べることができる。

② 歯肉圧排糸・薬剤の取り扱いができる。

(3) 保存治療時の診療補助

[一般目標]

保存治療の補助に対応するために必要な操作手順、薬剤および器材の使用法を修得する。

[行動目標]

1) 前準備

① 防湿法に用いる器具や材料の名称と用途を説明できる。

② ラバーダム防湿ができる。

③ 隔壁法に用いる器具の操作ができる。

④ 歯肉圧排法に用いる器具の操作ができる。

2) 窩洞形成

① 切削用器械・器具の名称と用途と管理法を説明し、準備ができる。

3) 成形修復

① コンポジットレジン修復の手順を説明できる。

② コンポジットレジン修復の器具や材料の名称と用途を説明し、準備ができる。

③ マトリックスバンドの操作ができる。

4) インレー修復

① インレー修復の手順を説明できる。

② インレー修復の器材の名称と用途を説明し、準備ができる。

③ 合着後の余剰セメントの除去ができる。

5) 漂白法

- ① 漂白法の種類と手順を説明できる。
- ② 漂白法の器具や材料の名称と用途を説明し、準備ができる。

6) 歯髄処置

- ① 歯髄処置の手順を説明できる。
- ② 歯髄処置の薬剤や器材の取り扱いを説明し、準備ができる。
- ③ 電気歯髄診断器の取り扱いを説明し、準備ができる。

7) 根管処置

- ① 根管処置や根管充填の手順を説明できる。
- ② 根管処置の薬剤や器材の取り扱いを説明し、準備ができる。
- ③ 根管長測定器の取り扱いを説明し、準備ができる。
- ④ 根管充填の薬剤や器材の取り扱いを説明し、準備ができる。

8) 歯周外科治療

- ① 歯周外科治療の手順を説明できる。
- ② 歯周外科治療の薬剤や器具の取り扱いを説明し、準備ができる。
- ③ 歯周用パックの取り扱いができる。

(4) 補綴治療時の診療補助

[一般目標]

補綴治療の補助に対応するために必要な治療手順および器材の使用法を修得する。

[行動目標]

1) 印象採得

- ① 印象採得の手順を説明できる。
- ② 印象採得で用いる器材の名称と用途を説明し、準備ができる。
- ③ 暫間被覆冠の作成ができる。

2) 咬合採得

- ① 咬合採得の手順を説明できる。
- ② 咬合採得で用いる器材の名称と用途を説明し、準備ができる。

3) 補綴装置の合着・装着

- ① 床義歯装着時に用いる器材の名称と用途を説明し、準備ができる。
- ② クラウン・ブリッジ合着時に用いる器材の名称と用途を説明し、準備ができる。
- ③ 義歯の取り扱い、清掃法等の説明ができる。

(5) 口腔外科治療時の診療補助

[一般目標]

口腔外科治療の補助に対応するために必要な治療手順、薬剤および器材の使用法を修得する。

[行動目標]

1) 局所麻酔

- ① 局所麻酔時に用いる薬剤や器材の名称と用途を説明し、準備ができる。

2) 抜歯

- ① 各種抜歯の手順を説明できる。
- ② 各種抜歯に用いる器材の名称と用途を説明し、準備ができる。
- ③ 止血法および抜歯後の注意事項を説明できる。

3) 小手術

- ① 各種小手術の手順を説明できる。
- ② 各種小手術に用いる器材の名称と用途を説明し、準備ができる。
- ③ 縫合に用いる器材の種類と名称を説明し、準備ができる。
- ③ 止血法および術後の注意事項を説明できる。

5) 精神鎮静

- ① 各種精神鎮静法の手順を説明できる。
- ② 各種精神鎮静法に用いる薬剤や器材の名称と用途を説明し、準備ができる。
- ③ 笑気吸入機器の取り扱いおよび管理ができる。

(6) 小児歯科治療時の診療補助

[一般目標]

小児歯科治療の補助に必要な患者対応および治療手順、薬剤と器材の使用法を修得する。

[行動目標]

1) 小児患者の対応

- ① 小児の一般的特徴および口腔の特徴について説明ができる。
- ② 治療時の小児の対応法について説明できる。
- ③ 混合歯列期の定期検診の必要性について説明できる。
- ④ 仕上げ磨きの指導が行え、重要性について説明できる。

2) 小児歯科治療

- ① 各種治療の手順を説明できる。
- ② 治療時に必要な薬剤や器材の名称と用途を説明し、準備ができる。
- ③ 保護者に治療についての説明ができる。
- ④ 麻酔後の注意事項についての説明ができる。

(7) 高齢者歯科治療時の診療補助

[一般目標]

高齢者歯科治療の補助に必要な患者対応および検査法、訓練法を修得する。

[行動目標]

1) 高齢患者の特徴について説明できる。

- ① 治療時の高齢者への対応ができる。
- ② 車椅子利用者への対応、介助ができる。

2) 摂食・嚥下リハビリテーション

- ① 各種検査法の手順を説明し、準備ができる。

② 各種訓練法の手順を説明し、準備ができる。

(8) エックス線写真撮影時の診療補助

[一般目標]

エックス線写真撮影時の補助に対応するために必要な撮影手順、放射線防護の方法を修得する。

[行動目標]

1) 撮影の準備

① 各種エックス線写真撮影器機の取り扱いを説明できる。

2) エックス線撮影

① 口内法の各種撮影法や部位に対するフィルムの位置づけと固定を説明できる。

② パノラマエックス線撮影および TMJ-XP 撮影の手順を説明できる。

③ 3D-CT の撮影手順を説明できる。

④ デジタルエックス線システムへの入力・保管の操作ができる。

⑤ デジタルエックス線センサーの取り扱い方や保管法を説明できる。

3) 放射線防護

① 放射線撮影による障害を説明できる。

② 患者様や術者の防護法を説明できる。

③ 歯科用エックス線撮影による被爆線量と安全性について説明し、指導ができる。

(9) 救命救急処置

[一般目標]

救命救急処置の補助に対応するために必要なバイタルサインの測定や処置器材・薬剤の使用法および管理法を修得する。

[行動目標]

1) 全身管理

① バイタルサインの項目や測定法を説明できる。

② バイタルサインの測定を実施できる。

2) 救命救急処置

① 一次救命処置の手順を説明できる。

② 一次救命処置に用いる器材・薬剤を説明し、準備ができる。

③ 二次救命処置の手順を説明できる。

④ 二次救命処置に用いる器材・薬剤を説明し、準備ができる。

④ AED の取り扱いを実施できる。

⑤ 救命処置に使用する器材・薬剤の管理ができる。

⑥ 緊急時の対応（コードブルー）ができる。

4. 歯科衛生士臨床研修・歯科保健指導コース

【一般目標】

健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を修得する。

(1) 総論

[一般目標]

対象となる個人と集団の歯科保健指導に必要な基本的知識、技術および態度を修得する。

[行動目標]

1) 概要

- ① 歯科保健指導の概要を説明できる。
- ② 歯科保健指導を個人と集団に分けて説明できる。

2) 生活行動

- ① 行動科学を説明できる。
- ② 行動変容を説明できる。

(2) 歯科保健指導の基礎

[一般目標]

歯科保健指導の基礎となる患者様の把握と評価に基づいた歯科衛生過程を習得する。

[行動目標]

1) 状態把握

- ① 患者様の日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。
- ② 患者様の日常生活自立度（ADL）について把握できる。

2) 全身状態の把握

- ① 全身的な健康状態を把握できる。

3) 歯・口腔状態の把握

- ① 歯・口腔の疾患と異常の観察と評価ができる。
- ② 口腔清掃状態の把握を、指標を基に診査できる。
- ③ 口腔機能について把握することができる。
- ④ 口腔機能のスクーリングテストができる。

4) 医療面接

- ① インフォームドコンセントについて説明できる。
- ② コミュニケーション・モチベーションについて説明できる。
- ③ 患者様に対する適切な対話法ができる。

(3) 口腔清掃指導法

[一般目標]

口腔清掃指導に必要な知識、技術および態度を修得する。

[行動目標]

1) 基礎知識

- ① 歯・口腔の清掃に関連する清掃用具の特徴と操作方法について説明できる。

② 歯磨剤と洗口剤の特徴について説明できる。

2) 指導の要点

① 口腔清掃状態の評価ができる。

② 口腔清掃自立度の評価ができる。

③ 口腔清掃の指導ができる。

④ ブラッシング方法の選択と指導ができる。

⑤ 歯ブラシや各種清掃用具の選択と使用法の指導ができる。

⑥ 歯磨剤・洗口剤の選択と使用法の指導ができる。

3) リスク対象別の指導法

① 齲蝕のリスクに応じた口腔清掃法の指導ができる。

② 歯周病のリスクに応じた口腔清掃法の指導ができる。

③ 口臭に関する指導ができる。

④ 口腔乾燥に関する指導ができる。

⑤ 義歯と矯正装置・インプラント補綴装着者に応じた清掃方法と管理指導ができる。

4) 対象別の指導法

① 各ライフステージ別の一般的特徴と口腔の特徴および歯科保健行動を説明できる。

② 各ライフステージ別の口腔清掃の指導ができる。

③ 特別配慮を要する、妊産婦・全身疾患保有者・障害者（児）・要介護者に対する口腔清掃の指導ができる。

④ 小学生への集団ブラッシング指導ができる。

⑤ 中学生への集団ブラッシング指導ができる。

5) 歯科衛生実地指導

① 歯科衛生実地指導計画の立案ができる。

② 歯科衛生業務記録を作成できる。

③ 歯科衛生実地指導の評価ができる。

(4) 生活指導

[一般目標]

ライフステージと機能障害に応じた生活指導に必要な知識、技術および態度を修得する。

[行動目標]

1) 基礎知識

① 各ライフステージ別の生活習慣の把握ができる。

② 各ライフステージ別の食生活の把握ができる。

③ 各ライフステージ別の生活指導ができる。

④ 食生活に関連する栄養素、栄養食品および食事摂取基準を説明できる。

⑤ 栄養と口腔保健の関連について説明できる。

⑥ 摂食・嚥下状態を把握できる。

- ⑦ 多職種との連携について説明できる。
- 2) 食生活指導
 - ① 各ライフステージ別の食育指導ができる。
 - ② 食育基本法と食生活指針を説明できる。
 - ③ 食事バランスガイドとフードガイドを説明できる。
 - ④ BMI について説明できる。
 - ⑤ 生活習慣病に応じた食育指導ができる。
 - ⑥ 障害者（児）・要介護者の食事介助の指導ができる。
- 3) 口腔機能の維持・向上
 - ① 口腔機能の現状を把握するためのアセスメントができる。
 - ② 口腔機能訓練ができる。
 - ③ 専門的口腔ケアができる。
- 4) 生活習慣
 - ① 禁煙指導と支援ができる。

4. 歯科衛生士臨床研修・アシスタントワーク

【一般目標】

歯科衛生業務を実践するために、歯科臨床のみならず、スタッフ間のコミュニケーション、診療室や施設の管理等の歯科衛生士として必要な知識、技能および態度を身につける。

(1) 対人関係

[一般目標]

歯科衛生業務を実践するために、歯科診療の場を通して対面する多くの人々と良好な関係を築く事が出来るように必要な知識、態度を身につける。

[行動目標]

- ① 歯科医師からの指示内容を踏まえた対応ができる。
- ② スタッフ（多職種を含む）との協力、連携した患者様へのサービスができる。
- ③ 患者様に応じて配慮した対応ができる。
- ④ プライバシーを配慮した態度で応接できる。
- ⑤ 患者様の守秘義務を遵守できる。
- ⑥ 清潔感のある身だしなみができている。
- ⑦ 専門用語を使わずに分かり易く説明ができる。

(2) 診療室（施設）の管理

[一般目標]

歯科衛生業務を円滑に遂行するために、歯科診療室の管理および病院の施設基準に準じた環境整備を行う知識と行動を身につける。

[行動目標]

- ① 診療室のルールを理解した行動ができる。
- ② 医療安全管理に配慮した行動ができる。
- ③ 感染防止（消毒・滅菌、手指消毒）対策に適した行動ができる。
- ④ 器材、機器および薬品の管理の方法を理解した行動ができる。
- ⑤ 患者情報の管理方法を理解した行動ができる。
- ⑦ 業務記録の記述ができる。

参考文献

歯科衛生学教育コア・カリキュラ-教育内容ガイドライン-。全国歯科衛生士教育協議会、2012。
歯科衛生士業務(診療補助)に関する業務ガイドライン。一般社団法人 日本ヘルスケア歯科学会、2014。

小森朋栄、遠山佳之、高橋英登：ポイントを押さえてスキルアップ！チェアサイドのアシスタントワーク。医歯薬出版株式会社、2013。

VIIIプログラム修了の認定

1年間の研修終了時に評価を行い、満足すべき研修を行い得た者に対しては、歯科衛生士臨床研修管理委員会より臨床研修修了証を交付する。